

北方生物圏フィールド科学センター 外部評価調書

外部評価委員氏名 東 信行

以下の「評価結果および判断理由」(評価結果)は、下記5段階から選択願います。

- ア. 自己点検・評価の内容は、期待される水準を大きく上回る
- イ. 自己点検・評価の内容は、期待される水準を上回る
- ウ. 自己点検・評価の内容は、期待される水準にある
- エ. 自己点検・評価の内容は、期待される水準を下回る
- オ. 自己点検・評価の内容は、期待される水準を大きく下回る

2. 組織・運営体制

評価結果および判断理由

【評価結果】(ア・**イ**・ウ・エ・オ)

【判断理由】

北海道大学の強みであるフィールドサイエンスを推進する体制がしっかりと存在している。そのうえで、領域を6領域から4領域に変更するなど運営の工夫がみられる。人事に関しては苦勞されているようだが、テニユアトラックの設定など、教員の質を担保する制度を取り入れている。

【特記すべき点】

(優れた点)

森林・耕地・水圏のもともとの分野に加え、統合的に横串を刺すことも可能にする統合研究領域を設置している点は今後の展開に期待が持てる。多くの施設を維持できていることは、諸刃の剣ではあるものの、現状は大学の特徴としての存在意義が見て取れる。

(改善を要する点)

優れた点と表裏一体ではあるが、組織全体の一体感について、さらなる組織改革が必要であろう。特に小規模施設に関しては、拡充もしくは統合の上充実化が必要ではないだろうか。運営委員会・教授会・運営調整会議など年4回の会議は必要十分ではあるかもしれないが、全体としてどのように改革しながら未来に進むのかを議論するには、過小な感じがある。現状維持のための設定に見て取れる。特別の諮問委員

会等があるのかもしれないが、積極的な議論の場が見えるとなお良い。

3. ステーションおよび施設

評価結果および判断理由

【評価結果】（ア・**イ**・ウ・エ・オ）

【判断理由】

多数のステーションを保有する北海道大学ならではの強みが認められる。一方で、これらの維持管理のコストが将来にわたって1法人でまかないきれぬのかは、不安要素がある。

【特記すべき点】

（優れた点）

地域貢献など大学の特性が現れやすい運用が行われている。また国際性や全国共同利用施設など対外的な活動に関しても積極的に感じられる。

（改善を要する点）

研究林の存在意義は理解できるが、スケールはかなり大きいと感じる。水圏施設は一部を除き、小規模である点など、将来において問題が顕在化する前に機能強化を推進するための機構の改革に着手する時期かもしれない。一部管理委託などされており、改善の意識は見て取れる。施設の老朽化への対応も苦勞されているため、生産物の収益を運営に生かす意識も職員らと共有して経営的な意味合いにおいても運営を強化されると良いのではないか。

4. 教育活動

評価結果および判断理由

【評価結果】（ア・イ・**ウ**・エ・オ）

【判断理由】

学内の教育に関しては申し分ない。共同利用・国際教育はコロナ禍の要因もあり、今後の回復・飛躍を期待する。

【特記すべき点】

(優れた点)

共同利用拠点として3拠点が活動している点は高く評価できる。さらに拠点化していなくとも他大学の利用に門戸を開いていることも優れた活動といえる。

(改善を要する点)

国際的なプログラムはさらに強化できないか？
社会貢献の側面ですで行われているが、小中高大の接続のハブとなる取り組みあるいはリカレント教育など市民科学者を育成するプログラムは強化できないか。

5. 研究活動

評価結果および判断理由

【評価結果】(ア・**イ**・ウ・エ・オ)

【判断理由】

平均的な論文公表数は十分にあり、それぞれのステーションでの研究の取り組み内容も時代に合った内容である。

【特記すべき点】

(優れた点)

大学全体の事業であるJ-PEAKSの中心に組織として存在している点、またそれぞれのステーションでの活動が、気候変動、カーボンマネージメント等々、重要な内容の研究に邁進している。

(改善を要する点)

学士の取得者数の減少傾向は気になる点である。

6. 社会貢献

評価結果および判断理由

【評価結果】（ ア ・ **イ** ・ ウ ・ エ ・ オ ）

【判断理由】

市民による施設利用実績数は高いレベルにある。地域との連携や兼業数にも一定の活動が見られる。産学官連携における研究活動も活発である。

【特記すべき点】

（優れた点）

受託研究の受入数・金額ともに高い値で推移している。新たに行われている学術コンサルティングの件数も増加傾向にある。

（改善を要する点）

日本学術振興会の所掌する、ひらめきときめきサイエンスがあげられているが、構成員の規模からするとこの事業以外の活動をもっと活性化しても良い。独自の活動もいくつか事例が上げら得ているものの、さらなる活性化に期待したい。

7. 教育研究支援体制

評価結果および判断理由

【評価結果】（ ア ・ イ ・ **ウ** ・ エ ・ オ ）

【判断理由】

事務職員の減少に対して事務作業の簡略化・自動化が追い付いていない現状が見受けられる。技術職員の減少は各施設の機能性に直接かかわる。また、技術職員1名の施設が多く、人事の流動化を妨げる要因にもなっている。

【特記すべき点】

（優れた点）

現状人員不足の中、業務を遂行するために現時点で可能な工夫（研修会など）など、努力は認められる。

（改善を要する点）

事務的な手続きのさらなる簡略化・DX化などを推進して1名当たりの事務作業量を減少させる努力は継続する必要がある。技術部の高度化に関して個人的な研修に加え、組織としての改革も必要と考える。特に組織の構造や人事に関する変革は必須となる。

8. 財務

評価結果および判断理由

【評価結果】（ ア ・ イ ・ **ウ** ・ エ ・ オ ）

【判断理由】

運営費交付金が減少する中、努力していることが認められる。外部資金の獲得が顕著であり、交付金の不足を補っているように見える。

【特記すべき点】

(優れた点)

受託研究・学術コンサルティングなどが堅調で、1件あたりが大型化しているように見受けられる。

(改善を要する点)

生産物収入は、変動はあるものの一定の金額で推移している。今後、現場の維持管理や施設整備などを考慮すると、計画的な収入増加も検討されるべきなのではないか。

9. 国際交流

評価結果および判断理由

【評価結果】(ア・イ・ウ・エ・オ)

【判断理由】

国際交流協定の数が、人員数に対して物足りない。

【特記すべき点】

(優れた点)

継続的な交流協定の維持や留学生の受け入れが認められる。

(改善を要する点)

積極的な若手教員の海外派遣や海外の研究者の招聘がもっとあってよい。

10. 安全管理

評価結果および判断理由

【評価結果】（ア・**イ**・ウ・エ・オ）

【判断理由】

適切な安全管理体制がとられている。

【特記すべき点】

（優れた点）

（改善を要する点）

フィールドが地方にある場合が多く、突発的な自然災害などが起こる可能性はより高まっている。これまでの体制に加えて、そのような災害も含めた安全管理に関するシステムを早期に整えていただきたい。

11. 課題と将来展望

評価結果および判断理由

【評価結果】（ア・**イ**・ウ・エ・オ）

【判断理由】

非常に多岐な内容にわたり多地点の組織が一体となって教育研究を進められている。

【特記すべき点】

(優れた点)

このような組織を健全に維持し続けていることは驚異的であり、構成員の努力のたまものだと思います。

(改善を要する点)

社会情勢の変化、国際化の推進、組織の機能強化に関して、今後またゆまぬ努力が必要かと存じます。

総合評価

(特記事項)

運営費交付金の減少に伴い国立大学法人の共通の問題点が浮き上がってきています。これに対応するためには組織改革などは継続的に求められます。演習林などの広大な土地を管理し、多数の施設を有する本センターは、通常の大学の部局を維持する以上に変革が必要になってくる可能性があります。それに対応できるように、普段から様々なアイデアを構成員の中で共有しディスカッションが必要かと思えます。

北方生物圏フィールド科学センター 外部評価調書

外部評価委員氏名 荒木輝明

以下の「評価結果および判断理由」(評価結果)は、下記5段階から選択願います。

- ア. 自己点検・評価の内容は、期待される水準を大きく上回る
- イ. 自己点検・評価の内容は、期待される水準を上回る
- ウ. 自己点検・評価の内容は、期待される水準にある
- エ. 自己点検・評価の内容は、期待される水準を下回る
- オ. 自己点検・評価の内容は、期待される水準を大きく下回る

2. 組織・運営体制

評価結果および判断理由

【評価結果】(ア・イ・**ウ**・エ・オ)

【判断理由】

・組織については、教員及び各職員が適正数確保され配置されているかが判断できない。

・運営体制については、運営委員会・教授会議等が開催されているようであるが、それぞれが適性かつ有効に機能しているか判断できない。

(優れた点)

・北方という地域性を考慮した、領域と研究テーマに沿った研究調査等に取り組んでいると思います。

・フィールドの広さイコール環境の違いを意識した体制で進められております。

(改善を要する点)

・近年の急激に進む地球温暖化は、各領域すべての生態系に影響しております。このことは、生産基地とも言える地域の実情に即した取り組みを進める上での人的配置を図ることが必要だと思えます。

3. ステーションおよび施設

評価結果および判断理由

【評価結果】（ア・イ・ウ・エ・オ）

【判断理由】

・森林圏、耕地圏、水圏にて道内外各地に16カ所の施設を有しており、森林から海岸までの広域をもって研究エリアとしておりますが、それぞれの機能がどのように生かされているのかが分からない。また、各施設等への人員配置が適性なのか判断できない。

【特記すべき点】

（優れた点）

・幅広いステーションの設置や地域性に合わせた研究が行われています。

（改善を要する点）

・現在そして未来を見据えたステーションの改修や設置が求められると思います。

4. 教育活動

評価結果および判断理由

【評価結果】（ア・イ・ウ・エ・オ）

【判断理由】

・現在、様似町では3圏の各領において連携事業を展開しております。激減化した植物の再生活動、高水温化により日高昆布の減産対策、夏秋採りイチゴ生産スマート化、更には、児童向けサイエンス授業や町民向けカレッジ（講演会）での講師協力等センターからの意欲的に取り組んで頂いており評価できます。

【特記すべき点】

(優れた点)

・先生方の専門分野を分かりやすく熱心にご指導いただく姿勢がとても素晴らしいです。

(改善を要する点)

・特にありません。

5. 研究活動

評価結果および判断理由

【評価結果】(ア ・ ① ・ ウ ・ エ ・ オ)

【判断理由】

・研究活動、業績については、学术论文数や共同研究プロジェクトに積極的に取り組まれておりますし、各ステーションのもつ特徴を生かした研究が進められております。

【特記すべき点】

(優れた点)

・各ステーションにおいては、地域課題への取り組みが多く、その結果には各方面で期待をしております。

(改善を要する点)

6. 社会貢献

評価結果および判断理由

【評価結果】(ア ・ イ ・ ウ ・ エ ・ オ)

【判断理由】

・ 様似町では包括連携協定を結んでおり、毎年本町のフィールドを活用して研究
されている先生方や、地域課題に対する講演等をいただいております。センターと地域
との連携が図られております。小学生向け「サイエンス授業」やイチゴ栽培における
スマート化や高山植物の再生活動、水産資源（日高昆布）の増殖事業等への協力等が
評価されます。

【特記すべき点】

(優れた点)

(改善を要する点)

・ 今後も各分野での連携を進めたいと思っています。

7. 教育研究支援体制

評価結果および判断理由

【評価結果】（ ア ・ イ ・ ウ ・ エ ・ オ ）

【判断理由】

・フィールドの各施設を活用する中で、これまでも様々な研究が行われてきており、その結果に対する支援が講じられていることは評価されると思います。

【特記すべき点】

（優れた点）

（改善を要する点）

・多様化する研究課題の中で施設運営・管理も含め限られた職員数での対応は難しいのではないのでしょうか。

8. 財務

評価結果および判断理由

【評価結果】（ ア ・ イ ・ ウ ・ エ ・ オ ）

【判断理由】

・人件費等をはじめ経常経費の占める割合が大きく、研究費等を外部資金（補助金・受託研究・寄付金）に頼らざるを得ない状況となっている。

【特記すべき点】

(優れた点)

(改善を要する点)

・財務的には厳しい状況と思われませんが、センターの果たす役割や貢献度に対する理解をいただく取り組みが必要だと思えます。

9. 国際交流

評価結果および判断理由

【評価結果】(ア ・ ① ・ ウ ・ エ ・ オ)

【判断理由】

・教員の国際共同研究や調査・発表への積極的な企画が図られている。併せて、海外からの研究者学生の受け入れへの対応は評価される。

【特記すべき点】

(優れた点)

・交流や受け入れ等を積極的に進めることで、グローバル化が図られ高い成果が期待される。

(改善を要する点)

10. 安全管理

評価結果および判断理由

【評価結果】（ ア ・ イ ・ **ウ** ・ エ ・ オ ）

【判断理由】

・センター全体の安全管理を司る安全委員会が設置されており、施設に対する安全管理や職員に対する安全衛生等への対応もしっかり行われている。

【特記すべき点】

（優れた点）

（改善を要する点）

・センターの各ステーションで施設を有していますが、施設や機器の老朽化等に対する安全対策や薬品等の安全管理体制の構築が必要だと思えます。

11. 課題と将来展望

評価結果および判断理由

【評価結果】（ ア ・ **イ** ・ ウ ・ エ ・ オ ）

【判断理由】

・各章ごとに課題や展望が簡潔に明記され明瞭に記載されており、評価できます。

北方生物圏フィールド科学センター 外部評価調書

外部評価委員氏名 近江 勉

以下の「評価結果および判断理由」(評価結果)は、下記5段階から選択願います。

- ア. 自己点検・評価の内容は、期待される水準を大きく上回る
- イ. 自己点検・評価の内容は、期待される水準を上回る
- ウ. 自己点検・評価の内容は、期待される水準にある
- エ. 自己点検・評価の内容は、期待される水準を下回る
- オ. 自己点検・評価の内容は、期待される水準を大きく下回る

2. 組織・運営体制

評価結果および判断理由

【評価結果】(ア ・ イ ・ ウ ・ エ ・ オ)

【判断理由】

組織・運営体制としてはしっかりと統制されているものと感じる。委員会、会議、懇談会等の具体的な実施日時とその内容がわからず、電子メールを用いた会議の実施内容について知りたかった。

【特記すべき点】

(優れた点)

なし

(改善を要する点)

なし

3. ステーションおよび施設

評価結果および判断理由

【評価結果】（ ア ・ **イ** ・ ウ ・ エ ・ オ ）

【判断理由】

非常に広大な北海道の各施設を活用した教育研究が継続的に実践されている。

【特記すべき点】

（優れた点）

各ステーション毎の継続研究とその有効活用を期待します。

（改善を要する点）

各施設の一般解放や利用等により、多くの人にその重要性和理解 PR に努めてほしい。また、施設設備の老朽化と改善、活用に向けたステーション毎の全体の整備計画が急務である。

4. 教育活動

評価結果および判断理由

【評価結果】（ ア ・ **イ** ・ ウ ・ エ ・ オ ）

【判断理由】

各施設の教育活動における利用状況は理解できたが、コロナ禍を経て今後どのような状況が適切なのか、教育成果を含め方向性を示す必要があるのではないか。

【特記すべき点】

(優れた点)

各施設で継続して教育活動が積極的に展開されている。

(改善を要する点)

利用に係る目標値の設定、上限・下限、センター職員の業務体験セミナーの受講状況が知りたかった。

5. 研究活動

評価結果および判断理由

【評価結果】(ア ・ **イ** ・ ウ ・ エ ・ オ)

【判断理由】

コロナ禍での様々な制限がある中での継続した取り組みは非常に困難を極めたことと感じた。

【特記すべき点】

(優れた点)

炭素貯留量の観測、気候変動評価、森林生物多様性の生態系機能の解析等大変貴重なデータの積み重ねが素晴らしい財産である。

(改善を要する点)

研究活動と報告及びPRへの活用があると更に良い。人材の確保と技術の継承が喫緊の課題。

6. 社会貢献

評価結果および判断理由

【評価結果】（ ア ・ イ ・ ウ ・ エ ・ オ ）

【判断理由】

コロナ禍で施設利用状況が落ち込んだが、今後も一般市民を対象とした教育活動と一般公開をより一層進めてほしい。

【特記すべき点】

（優れた点）

これまで継続した取り組み、地域機関や自治体との連携協定の継続と社会貢献活動が素晴らしい。

（改善を要する点）

ひらめき・ときめきサイエンスの実施は素晴らしいが、毎年同じ内容もよいが、数年単位の学びのレベルアップを取り入れたローテーションがあると継続参加が増えると感じた。

施設利用及び（見学等）をコロナ禍前のレベルへ。

7. 教育研究支援体制

評価結果および判断理由

【評価結果】（ ア ・ イ ・ ウ ・ エ ・ オ ）

【判断理由】

人員削減、予算削減により業務改善等に積極的に取り組んでいるが、このままではこれまでの業務の継続と教育関連施設としての維持が非常に心配である。

【特記すべき点】

（優れた点）

専門的な技術演習や技術教育の受講が実施されている。

（改善を要する点）

継続した業務遂行に見合った人員及び予算の確保が重要、効率的な業務改善に係るインフラ整備の計画が必要。

8. 財務

評価結果および判断理由

【評価結果】（ ア ・ イ ・ ウ ・ エ ・ オ ）

【判断理由】

全体予算が平成 16 年度から年々厳しい状況である。研究林等のフィールド維持、管理に莫大な予算計上が必要不可欠であることから、積極的な外部資金受け入れ及びあらゆる角度から資金調達が喫緊の課題である。

【特記すべき点】

(優れた点)

学術コンサルティング受け入れ状況が増大している。

(改善を要する点)

生産物収入にかかり、今後更に増収に向けた取り組みが必要である。

9. 国際交流

評価結果および判断理由

【評価結果】(ア ・ イ ・ ウ ・ エ ・ オ)

【判断理由】

近年の協定締結状況が見られない。

教員の研究交流の受け入れキャパについては不明であるが、双方向交流を積極的に進めてほしい。

【特記すべき点】

(優れた点)

毎年継続して同程度の国際交流が行われている。

(改善を要する点)

なし

10. 安全管理

評価結果および判断理由

【評価結果】（ ア ・ イ ・ **ウ** ・ エ ・ オ ）

【判断理由】

センターにおける安全管理体制、内規運用の状況は随時の見直しと改善、各施設職員への周知、徹底の面では十分とはいえない。

【特記すべき点】

（優れた点）

なし

（改善を要する点）

これまでの事故発生状況の報告とその改善策の作成、公表があると良い。情報セキュリティの管理規則の作成と職員への周知。

11. 課題と将来展望

評価結果および判断理由

【評価結果】（ ア ・ **イ** ・ ウ ・ エ ・ オ ）

【判断理由】

組織運営体制の具体的な改善方策の提示と方向性を示す必要がある。

【特記すべき点】

(優れた点)

平成13年からこれまで様々な活動とご功績に改めて敬意を表します。今後も課題山積の中ではありますが、一つ一つ克服いただきながら継続的な活動を心からお願いいたします。

(改善を要する点)

ステーション及び施設の老朽化対策の整備計画と予算化及び優先順位の作成、実行。

総合評価

(特記事項)

新型コロナウイルスの影響が非常に大きいものであることが改めて示された。また、運営者、教職員の減少に係る課題、施設の老朽化対策及び教育施設としての維持管理等、どの課題解決が急務である現状を今後どのような具体策を示せるかが求められている。

- 1) 管理運営の効率化
- 2) 研究、教育の活動強化
- 3) 社会課題の解決と地域貢献

以上3点で掲げられているものを一つ一つ確実に成果として現れるようにご期待いたします。

北方生物圏フィールド科学センター 外部評価調書

外部評価委員氏名 高木 正博

以下の「評価結果および判断理由」(評価結果)は、下記5段階から選択願います。

- ア. 自己点検・評価の内容は、期待される水準を大きく上回る
- イ. 自己点検・評価の内容は、期待される水準を上回る
- ウ. 自己点検・評価の内容は、期待される水準にある
- エ. 自己点検・評価の内容は、期待される水準を下回る
- オ. 自己点検・評価の内容は、期待される水準を大きく下回る

北方生物圏フィールド科学センター(以下、センターという)。

2. 組織・運営体制

評価結果および判断理由

【評価結果】(イ)

【判断理由】

教育研究部を従前の6領域からステーションに対応した4領域に再編したことにより、組織と実態がシンプルに連携可能になったと考える。また統合研究領域を新たに設けた点も評価できるが、今後の実質化が望まれる。

【特記すべき点】

(優れた点)

統合研究領域を設けた点

(改善を要する点)

統合研究領域の実質的な活動が滞っているように思われる点。

3. ステーションおよび施設

評価結果および判断理由

【評価結果】(イ)

【判断理由】

各施設及び設備の老朽化が進んでいるとのことであり、その改善がなかなか進んでいない。一方で当然ながらその現状は十分に認識されており、国の施設整備補助金

(概算要求)だけを頼りにせず、民間資金や企業版ふるさと納税などの活用した対応を試みている。

【特記すべき点】

(優れた点)

民間資金や企業版ふるさと納税などの活用した、施設・設備の改修・更新を進めている点。

(改善を要する点)

施設及び設備の老朽化は安全衛生管理と直結している問題なので早急な対応が求められる。

4. 教育活動

評価結果および判断理由

【評価結果】(ウ)

【判断理由】

センター全体で3つの教育関係共同利用拠点を継続している点は評価できる。全学教育の実績がコロナ禍以前のレベルに戻っていない原因として教員の異動がその一つに挙げられているが、このような問題を属人的なものとして、もしくはセンター全体の任務として位置づけるのかは、検討が必要だと考える。

【特記すべき点】

(優れた点)

特になし

(改善を要する点)

特になし

5. 研究活動

評価結果および判断理由

【評価結果】(ア)

【判断理由】

教員一人あたりの発表論文数が多い。科学研究費の採択率が平均より高い。外部資金を積極的に獲得している。

【特記すべき点】

(優れた点)

J-PEAKS などの大型予算の獲得に主体的に関わっている点。

(改善を要する点)

センター教員が関わらない利用実績は、学外者にとってのセンターの魅力を定量的に評価できる数値と考える。このような評価観点が他の部局に求められていないのはその通りだが、逆にこの点がセンターでしか果たせない独自の存在意義の一つでもあるため、今後うまくアピールしていけると良いと思います。

6. 社会貢献

評価結果および判断理由

【評価結果】(ウ)

【判断理由】

数多くの社会貢献活動を実施している。「地元で大学の施設があって先生がいる」という地域の期待に応えることは、地域との関係を良好に保つためにも、地味な活動ではあるが重要なことと考える。一方で、その量と質については教員個人もしくは事業所単位の努力と判断によるところが大きいと思われる。そのような属人的な部分をセンター・領域として整理対応することも今後、人的資源が十分に割けない状況において必要になっていくと考える。

【特記すべき点】

(優れた点)

特になし。

(改善を要する点)

もし有益と思われるのであれば、社会貢献プログラムの実施体制の工夫や見直し。

7. 教育研究支援体制

評価結果および判断理由

【評価結果】(エ)

【判断理由】

技術部のプレゼンスが低い点およびセンターとして技術部のガバナンスや活性化の方針が分かりにくい点。

【特記すべき点】

(優れた点)

特になし

(改善を要する点)

技術職員の業務・処遇に対して教室系の教員の意向が強い施設(事業所)があるようだが、技術支援本部の発足をきっかけに、センターとして技術部との意思疎通を強め、改善していけると良いと思います。

8. 財務

評価結果および判断理由

【評価結果】(ア)

【判断理由】

大型の外部資金を獲得している。また収入見合いも大きな問題とはなっていないようである。

【特記すべき点】

(優れた点)

大型の外部資金を獲得している点。

(改善を要する点)

財務の現状そのものというより、評価として、間接経費、拠点制度および概算要求事項などの数字も無いと全体的な判断は難しいです。

9. 国際交流

評価結果および判断理由

【評価結果】(ウ)

【判断理由】

着実に実績を上げている。

【特記すべき点】

(優れた点)

特になし

(改善を要する点)

特になし

10. 安全管理

評価結果および判断理由

【評価結果】(エ)

【判断理由】

大学によって管理体制に違いがある可能性があるが、安全衛生管理、化学物質等の管理、また危機対策等は、全学の担当部署の指導・依頼に基づいて部局で責任を持ってあたるものと思われる。これらの遂行を事業所と業務内容が多岐にわたる点が難しくしている事情は理解できる。しかし船舶や農林業での重機は労働災害が最も高い業務であるため、これらの業務に特化している部局として特段の配慮が求められていると考える。

【特記すべき点】

(優れた点)

特になし

(改善を要する点)

リスクマネジメントと危機管理体制の確立と徹底。

11. 課題と将来展望

評価結果および判断理由

【評価結果】(イ)

【判断理由】

外部資金の獲得、施設(事業所)に関する諸問題、および安全管理に関する課題の認識はそれぞれ適切と考えられる。一方で、技術部の活性化とガバナンスについては、より踏み込んだ対応の検討が望まれる。

【特記すべき点】

(優れた点)

社会課題の解決と外部資金獲得を結びつけている点。

(改善を要する点)

特になし

総合評価

(特記事項)

設立以来四半世紀にわたり広大で多岐にわたる附属施設と業務を管理運営し、教育・研究に貢献してきたセンターの教職員に敬意を表します。特に近年は、運営交付金だけに頼るのではなく、大型の外部資金を活用し施設・設備の更新を成し遂げている点は、大学附属施設の運営において手本となる非常に優れた実績と方針と言えます。一方で国立大学法人に共通して人的・資金的なリソースが減少していく現状で、施設・設備・業務を今まで通り維持していくのか、維持できるのかという問題があります。これらを直接管理する部局であるセンターは他部局よりこの問題に早急に直面しており、選択と集中を念頭に長期計画を検討する段階にあると思います。そのようなあまり明るくない状況においても、施設・設備が外部資金を活用して更新できていると、教職員や学生のみならず利用者や地域も、いい方向に向かっているんだな、と実感できると思います。広大で様々な生態系を管理するセンターの活動と現状は、北海道大学のブランド維持に直結しているように大学外の者にはみえます。今後も、日本の大学を代表するフィールドセンターとしての活躍を期待します。

北方生物圏フィールド科学センター 外部評価調書

外部評価委員氏名 高嶋 孝寛

以下の「評価結果および判断理由」(評価結果)は、下記5段階から選択願います。

- ア. 自己点検・評価の内容は、期待される水準を大きく上回る
- イ. 自己点検・評価の内容は、期待される水準を上回る
- ウ. 自己点検・評価の内容は、期待される水準にある
- エ. 自己点検・評価の内容は、期待される水準を下回る
- オ. 自己点検・評価の内容は、期待される水準を大きく下回る

2. 組織・運営体制

評価結果および判断理由

【評価結果】(ア ・ イ ・ ウ ・ エ ・ オ)

【判断理由】

北海道大学の生物系フィールドを一元に運営する組織として、時代に合わせつつ、合理的な構造を追究している。

【特記すべき点】

(優れた点)

2021年にそれまでの6つに分かれていた領域を、擁するフィールドの特徴を踏まえた4領域に整理した点、教員の選考や採用において公正なルールやテニユアトラック制度を運用している点、若手教員の確保についても取り組んでいる点が評価できる。

(改善を要する点)

地方施設への教員配置について、不足や停滞を防ぐ工夫が、制度的にも必要ではないだろうか。

3. ステーションおよび施設

評価結果および判断理由

【評価結果】（ア・イ・㊦・エ・オ）

【判断理由】

所属施設・フィールドの利活用について、積極的に取り組んでいる。その一方で、施設や大型機械の老朽化に対応するための更新が追いついていない。

【特記すべき点】

（優れた点）

森林圏ステーションに所属する施設を中心に、立地する自治体と連携協定を結び、社会貢献・地域貢献の活動や共同事業に活用されている点、水圏ステーションに所属する施設を中心に、文部科学省教育関係共同利用拠点の認定を受け、他大学の学生・大学院生の実習に利用されている点が評価できる。

（改善を要する点）

多くの施設で老朽化が進行しており、安全管理やバリアフリー／男女共同参画などへの悪影響が懸念される。これらのことは、特に長期利用を制限する要因になり得る。

地方施設を希望する教員が減少している点については、選考や人事上の扱いにおいて地方施設勤務を促す工夫が必要と思われる。

重機類に関して更新が滞っている現状については、特に安全確保のために対策が必要である。立地自治体との共有・共同管理などができないだろうか。

4. 教育活動

評価結果および判断理由

【評価結果】（ア・イ・㊦・エ・オ）

【判断理由】

所属施設・フィールドを、学内外の教育に積極的に活用する取り組みをすすめ、多くの項目においてコロナ禍以前の水準への回復を果たしていることは評価できる。一方で、センターが国内外の利用者にとって、魅力的な施設・フィールドを提供し続けられているかどうかについて、一度俯瞰的に分析してみたいだろうか。

【特記すべき点】

(優れた点)

学生実習に安定的に利用されており、かつ大学院教育での利用が増加傾向であることから、学内の実習フィールドとして有効に活用されていると判断できる。また、コロナ禍で一度落ち込んだものの、共同利用による利用学生の所属大学数が伸びていることから、他大学による利用も広がっていると評価できる。

(改善を要する点)

全学教育による利用がコロナ禍以前の水準に戻っていない理由が、募集定員を減らしたことと教員配置による都合と分析されているが、これらはセンター側の内部的事情によるものであり、効果的な施設利用のためには改善されるべきものである。海外大学からの利用がコロナ禍以前の水準に戻っていないことについて、国際共同利用施設として魅力が十分にあるかどうかの検証が必要と考える。

5. 研究活動

評価結果および判断理由

【評価結果】(ア・①・ウ・エ・オ)

【判断理由】

所属教員が着実に研究実績(論文発表)を積み重ねていることが評価できる。

【特記すべき点】

(優れた点)

教員が発表した学術論文数は、令和4・5年度においても一人あたり年間ほぼ3報に達しており、精力的に研究活動を進めている点が評価できる。

(改善を要する点)

学士学位取得者数が減少傾向なことから、卒業研究における施設利用が減少している可能性があり、確認が必要である。

6. 社会貢献

評価結果および判断理由

【評価結果】（ ア ・ ① ・ ウ ・ エ ・ オ ）

【判断理由】

市民講座や研修会などにより、市民教育や地域貢献に積極的に取り組んでいることに加え、新しい制度である学術コンサルティングについて、着実に実績を積んでいる。

【特記すべき点】

（優れた点）

公開施設入場者数がコロナ禍以前の水準に回復していることが評価できる。
学術コンサルティングの利用が増加傾向であり、教員等が専門家として地域に貢献する手段として有効に機能している点が評価できる。

（改善を要する点）

一般利用による施設利用（教育研究、その他）が、コロナ禍で落ち込んで以降、回復に至っていないことについては、原因を特定すべきと考える。

7. 教育研究支援体制

評価結果および判断理由

【評価結果】（ ア ・ イ ・ ㊦ ・ エ ・ オ ）

【判断理由】

技術職員・技能職員の技術水準を保つための取り組みが不断に行われている一方で、長年交代が無い一人職場が発生したりしている。

【特記すべき点】

（優れた点）

森林圏領域において、技能職員（非正規職員）を対象とした研修会を実施している点は、フィールド全体の技術水準を維持するために重要であり、評価できる。

学外で開催される研修・講習・研究会についても、技術研究本部の補助を受けながら職員を派遣している点が評価できる。

（改善を要する点）

非正規の事務職員が増加していることから、業務が適切に処理されていることを定期的にチェックする仕組みを確立しておく必要がある。

技術職員について、マルチスキル化を図るなどして、異動のハードルを下げることに取り組む必要がある。定期的な職員異動が、職場や業務のマンネリズム化を防ぐために必要と考える。

8. 財務

評価結果および判断理由

【評価結果】（ ア ・ ㊧ ・ ウ ・ エ ・ オ ）

【判断理由】

外部資金獲得や学術コンサルティング制度の導入により、財源不足に対して不断に努力している。

【特記すべき点】

(優れた点)

学術コンサルティングによる収入が順調に増加していることが評価できる。

(改善を要する点)

特にありません。

9. 国際交流

評価結果および判断理由

【評価結果】(ア ・ ・ ウ ・ エ ・ オ)

【判断理由】

教員による国際プロジェクト参加、海外研究者や留学生の受入、海外大学とのワークショップ合同開催など、積極的に国際交流を展開している。

【特記すべき点】

(優れた点)

大学院における留学生の受入が増加傾向であることは、評価できる。

各施設では、海外学生の受入に際し、共同利用研究プログラム等を有効に活用していることも評価できる。

(改善を要する点)

南半球に位置する国々との交流も意識して実施することで、本センターが名称に冠する「北方生物圏」をより深く理解する研究課題を実施できるのではないか。

10. 安全管理

評価結果および判断理由

【評価結果】（ア・イ・ウ・㊦・オ）

【判断理由】

センターとして安全衛生管理体制が構築されているが、それが適切に運用されているとは言いがたい。安全管理の実質が施設任せになっているとみられ、それらの法的根拠や最新情報によるアップデートがされているかどうか不明である。また、安全委員会が過去5年間開催されていないことから、センターによる事故・事象の情報把握もリアルタイムで行われていないことが疑われる。一般に、安全管理の適切性は、所属職員の直接的な安全だけでなく、その機関の社会的信用度に大きく影響する。したがって、今後のセンターの持続的運営のため、本項目に関連する問題点については、早急に改善に取り組む必要がある

【特記すべき点】

（優れた点）

特定作業に従事するための免許・資格取得や講習・教育受講が適切に実施されていることが評価できる。

（改善を要する点）

安全マニュアルの配布ならびに改訂が継続していない点は、安全管理の観点から早急に改善が必要である。

センター内で起こった事象とその対処について、アドバイザー等によるコメントとともに、定期的に情報共有することが望ましい。

一部フィールドでアルコールの呼気検査を実施しているとの記述があるが、法的には車両を使用するすべての施設等で必要なものである。

業務上の意思疎通を図るためにSNSを活用すること自体は優れたアイデアであるが、関係するすべての職員と確実にかつ効率的に意思疎通するためには、学内ネットワークに職員間連絡専用のメッセージツールを用意するなどの工夫が必要である。

11. 課題と将来展望

評価結果および判断理由

【評価結果】（ ア ・ ① ・ ウ ・ エ ・ オ ）

【判断理由】

おのおのの項目について、今後の課題と目指そうとする方向性が明確に記載されている。

【特記すべき点】

（優れた点）

所属教員が着実に研究実績を積み重ねているほか、地域連携や社会貢献、国際交流などの活動に一層取り組み、センターの施設・フィールドを有効活用することに尽力している点が評価できる。

（改善を要する点）

施設の管理と老朽化対策、ならびに安全管理について、着実かつ効率的に実施する方策を検討して実行する必要がある。

総合評価

（特記事項）

北海道大学の生物系フィールドを一括して預かる施設として、その責務を果たすために不断に様々な取り組みを行っていることを理解することができた。また、今回の評価期間では、期間中に新型コロナウイルス感染症が蔓延し、その対策のために論文発表以外のあらゆる活動が縮小したが、令和5年度までに、多くの活動実績が対策前の水準に回復していることについて、高く評価したい。
